

2016年の最も優れたローカルCMを決める

「ぐろ～かるCM大賞 2016」発表！

ぐろ～かるCM研究所

テレビCMの戦略立案、コンサルティングを行う株式会社テムズ(東京都文京区、社長:鷹野義昭)が運営する「ぐろ～かるCM研究所」は、2016年の最も優れた地方CM・PR動画に贈る「ぐろ～かるCM大賞2016」を発表した。

秀逸な地方CM・PR動画を網羅的に取り扱ったインターネットサイト「ぐろ～かるCM研究所」

(<http://glocalcm.sakura.ne.jp/>)において、2015年12月～2016年11月の期間にノミネートされたCMおよびPR動画170素材のなかで、専門家による審査の結果、以下のようなCM・PR動画の受賞が決定した。

■ ぐろ～かるCM大賞 2016 ■

愛媛県：高田引越センター



<<http://glocalcm.sakura.ne.jp/160157>>

とにかく、“目が離せない”クリエイティブに仕上がっています。プールサイドに佇む水着の美女。上半身には透けそうな白いシャツを着て、悩まげな視線をこちらに向けています。躊躇いながらも、シャツのボタンを外していく彼女…ついに最後の一つが外され！一気にシャツを脱ぎ！肌が露わに！！…の瞬間、、、、？？？最高か最悪か、とにかく絶妙なタイミングです。

引越し男子の「エアコン取外し無料！」の決め顔、そして「♪ひっこし、こし、こし、TAKADA」の締め、脱力させられます。

【授賞理由】

高田引越センターは、過去の制作素材でも、バリカンで丸坊主になっていく女性や、ユーモラスな家族の引越しなど、フックの効いたCMを多数制作しています。今回は、さらに思い切ったクリエイティブアイデアで、卓越したインパクトづくりに成功しています。

スマホやパソコンの普及で、テレビCMの“ながら視聴”による“見流し”“聞き流し”が常態化する昨今のなかで、しっかりと目を止め、記憶に残るCMであること。そして何より、訴求ポイントの「高田引越センター」の名称と「エアコン取外し無料！」のUSPを、広告としてしっかりと結びつけていることが高く評価されます。

お色気たっぷりの冒頭から展開される“ハラハラ・ドキドキ”。地方CMだからこそできる「大胆さ」に、今後のCMクリエイティブも期待度大の企業です。

■ ぐる～かるPR動画大賞 2016 ■

三重県：津市



<<http://glocalcm.sakura.ne.jp/160212>>

可愛い女性で歌われる「つ」のうたに乗せ、奇妙な世界が展開されていきます。吉田沙保里選手はレスリング中に相手を全力で噛み、老紳士は頭の上に鳩を乗せ、若い女性はご満悦の表情で髷のエクステ…。ここはあるものが無くなった世界。普段気にしないものだけれど、有ると無しでは世界がこんなにも違ってしまいます。そんなあるものとは…!?

ユニークな歌と映像をバックに、視聴者を「ん??」と引きつける言葉遊びのアイデアが秀逸です。さらに、最後に明かされる歌声の主には驚きが待っています!!

【授賞理由】

地方自治体によるPR動画が乱立状態ともいえる昨今、そのなかで明確なコンセプトとそれを伝達するクリエイティブアイデアが高く評価されます。

“三重県の県庁所在地と聞かれなかなかなか出てこない”というマーケティング課題を解決するための絞り込みが潔く、しっかりと他県の人にリマインドさせる効果を持っています。さまざまな特色を盛り込むのではなく「つ」という音に絞り、映像の中心として終始登場することでメッセージがより強く残るものになっています。

また、オリンピックで注目された吉田沙保里さんを起用するなど、インターネット上での拡散が重要な地方PR動画にとっての「話題づくり」にも成功しています。そして、展開される数々の“オチ”に思わず二度見したくなってしまうことも見逃せません。

< 特別賞 >

■ ぐる～かるCM・エリアマーケティング賞 ■

熊本県：天草エアライン



<<http://glocalcm.sakura.ne.jp/160198>>

福岡から熊本・天草へ。行くとしたら新幹線? 車? 高速バス? 新幹線でも熊本を經由して3時間以上、車だと高速道路を利用しても5時間近く。その道のりをたった35分で結ぶのが、天草エアラインです。ただ、その存在

はあまり知られていない様子？その状況を自虐ネタに、「そんなあなたに知ってほしい」と方言全開でお送りしているのが、こちらのCMです。

「マイナーですいません(汗)」のテロップがおちゃめ。夕暮れに染まる天草の美しいカットには、旅心をくすぐられます。福岡からたった35分で行けることをCMで知ったら、ふらっと訪れてみたくなりますね。

■ ぐる～かるCM / PR動画・地域ブランディング賞 ■

滋賀県：滋賀県



<<http://glocalcm.sakura.ne.jp/160160>>

数ある地方PR動画CMのなかでも、かなり奇抜・奇妙な滋賀県のコチラ！琵琶湖も近江牛も登場せず、とにかく、同県生まれの武将・石田三成を推しています。

CM中に挿入されるユルさ満点の歌、「♪武将といえば三成～ 1560(イチゴーロクゼロ)滋賀県生まれ」♪配下にするなら三成～」はインパクト抜群です。全体的に昭和のCMを彷彿とさせる映像が、今だからこそ目を引きます。

また、“地方CMっぽさ”を敢えて演出した隙だらけの内容は、見る側のツッコミ心を刺激し強いフックになっています。特に、ラストで唐突に挿入される「三献の茶」の紹介は、“放送事故っぽさ”までも演出されていて衝撃的です。ローカル感を逆手にとり、「まずは話題となること」に焦点を絞ったクリエイティブからは、制作者たちの滋賀県PR作戦に対する本気度が伝わってきます。

■ ぐる～かるPR動画・戦略マーケティング賞 ■

大分県：別府市



<<http://glocalcm.sakura.ne.jp/160224>>

タオル一枚で遊園地内を楽しむお客さんたち。落ちそうなタオルを気にしながら、向かう先は定番のメリーゴーランドやジェットコースター。しかし、その遊具たちにはなんとお湯が張ってあります！

世界一の温泉湧出量を誇る別府市が”遊べる温泉都市構想”として、温泉と遊園地を融合させたアミューズメント施設の「湯～園地」計画を発表したのが本動画です。

遊具に乗りながら温泉に浸かるなんてどうせ夢物語でしょ？と思いきや…なんと100万再生を達成したらこの計画を実行すると別府市長が宣言したら、動画公開から1週間以内に達成してしまいます。

大切なあの人と観覧車からの夜景を眺めて温泉に浸かる…そんな想定もしていなかった未来がすぐそこかもしれません！新しい試み盛り沢山で、大注目のPR動画です。

研究所所長 鷹野義昭メッセージ

2015年からスタートした「ぐろ〜かるCM研究所」サイトへのCM・PR動画登録数は300素材に達し、日本を代表するローカルCMの紹介サイトに成長いたしました。サイトを応援していただいている皆様方、動画をリンクさせていただいております広告主の企業様ならびに自治体様に深く感謝いたします。

今年は、地方自治体によるPR動画が特に注目されました。全国各地の自治体などが知恵を振り絞って制作した動画には、目を見張られ、釘づけになり、爆笑してしまう、クリエイティブに出会うことがたびたびありました。CMとは異なり、動画サイトなどで能動的に「見てもらう」必要があるPR動画は、話題づくりに苦心している様子がうかがえます。なかには、数百万円もの費用をかけてもほとんど「見てもらえない」といった残念な自治体PR動画も見受けられました。

6億円ものふるさと納税の増収につながる秀逸な動画と、再生回数が数千回程度の“税金をドブに捨てる”ような動画。その差はどこにあるのでしょうか。

ローカルCMも同様のことがいえますが、制作側の心意気がCMIにしっかりと込められて、コンセプトとして一本筋が通っていること。受け手側の興味や反応に対し、創造力を持って微に入り細に入り気配りが張り巡らされていること。クリエイティブアイデアにオリジナリティが高く、“想定外の意外性”を感じさせるもの。今回受賞のCM・PR動画全てに、こうしたことがまぎれもなく当てはまるものと考えております。

2017年は、600素材のCM・PR動画のノミネート数を目標として、頑張っていきたいと思います。応援のほどよろしく願いいたします。今後とも、サイト運営や様々な活動を通じて、地域振興やテレビCMの活性化の一助になれば幸甚でございます。

■ぐろ〜かるCM研究所

日本全国の各道府県で放送されている秀逸なローカルCM・PR動画を選定し、同サイトからユーチューブ動画へリンクする形で数多く紹介している。「笑える」「お色気」「インパクト」「おもしろキャラ」など、さまざまな観点から網羅的に閲覧が可能となっている。

「研究所所長」でCM戦略コンサルタントの鷹野義昭をはじめ、産業能率大学経営学部教授の小々馬敦氏、CMクリエイティブ・ディレクターの福谷匡史氏、さらには産業能率大学の女子大生たちを「特任研究員」として、ローカルCMを「総合」「地域密着度」「インパクト度」「クオリティ度」の4つの軸に対し5段階で評価し、専門家によるコメントがつけられている。

■サイト概要

名称:ぐろ〜かるCM研究所

URL: <http://glocalcm.sakura.ne.jp/>

オープン日:2015年9月6日

運営:株式会社テムズ(東京都文京区)

■鷹野義昭プロフィール

株式会社テムズ 代表取締役/日本広告学会正会員

大手広告代理店のマーケティングプランナーを経て、現職。1000素材を超えるテレビCMの戦略立案・分析・調査に約30年携わる。著書に「CM好感度No1. だけどモノが売れない謎 ~明日からテレビCMがもっと面白くなるマーケティング入門~」(ビジネス社)。「ファインドスター広告ニュース」「ビジネスジャーナル」コラム、雑誌「宣伝会議」等執筆多数。専門家コメンテータとして、フジテレビ「スーパーニュース」「めざましテレビ」、テレビ朝日「中居正広の『ミになる図書館』」などに出演。大学・企業等においてセミナー・講義の実績多数。

【本件の取材・掲載に関する報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

株式会社テムズ(担当:石川)

住所:〒113-0033 東京都文京区本郷 1-25-5-4F

電話番号:03(3818)0254 FAX 番号:03(3818)0640 MAIL:info@tems.ne.jp